

「重要文化財木造十一面観音立像美術工芸品保存修理事業」概要

【文化財の概要】

| | |
|-------|---------------|
| 指定区分 | 国指定 重要文化財(彫刻) |
| 名称 | 木造十一面観音立像 |
| 員数 | 2軀 |
| 年代 | 平安時代(10世紀頃) |
| 指定年月日 | 昭和3年8月17日 |
| 所有者 | 宗教法人龍華寺 |

【事業目的】

重要文化財「木造十一面観音立像」(2軀)は、像本体及び光背に白カビが発生しているほか、一部の彩色の浮き上がりがあり、また、濡れ染みもみられ、早急な修理が必要な状況となっていました。

このため、本文化財を安定した状態で保存し、確実に後世へ伝えるとともに、公開に耐えうる状態にするため、国庫補助を受けて保存修理を実施しました。

【全体の事業期間】

令和元年9月～令和2年1月

【事業体制】

補助事業者:宗教法人龍華寺

修理施工者:公益財団法人美術院

【本年度総事業費及び補助金額、収入先明細など】

| | |
|--------------|--------------------|
| 総事業費 | 2, 246, 647 円 |
| (補助金額・収入先明細) | |
| 国庫補助金 | 1, 459, 000 円(65%) |
| 広島県補助金 | 262, 000 円 |
| 世羅町補助金 | 131, 000 円 |
| 補助事業者負担金 | 394, 647 円 |

【本年度保存修理の概要】

十一面観音立像2軀のカビ取り(除菌)、彩色の剥落止めや濡れ染みの除去を中心とする保存修理を実施しました。

なお、修理に先立ち、仏像に付着したカビを死滅させ、カビの更なる増殖を防ぐことを目的として、像を安置する収蔵庫内の燻蒸を実施しました。

【修理前・修理後の状況】 十一面観音立像 2軀(センダン像・ケヤキ像)

写真提供:(公財)美術院

十一面観音立像(センダン像) 像高 190.6 cm

(修理前)



(修理後)



(作業中の様子)



カビ除去作業



彩色剥落止め作業

十一面観音立像(ケヤキ像) 像高 172.1 cm

(修理前)



(修理後)



(作業中の様子)



カビ除去作業

制作:(宗)龍華寺



本事業は、文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2019